



日本パペットセラピー学会

第 12 回埼玉大会について

テーマ「子どもたちを育むパペットセラピー」

開催日：平成30年10月14日(日)

会 場： 埼玉県地域医療教育センター

大会長あいさつ

上原 美子 (JTPA 理事。埼玉県立大学准教授)

このたび、平成 30 年 10 月 14 日 (日) に埼玉県地域医療教育センター及び埼玉県立大学大学院サテライトキャンパスにおいて第 12 回大会を開催することとなりました。これまでの会員の皆様方のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

今回の大会プログラムでは、教育講演「子どもをとりまく環境とパペットセラピー」、特別講演「発達障害児とパペットセラピー」をご依頼いたしました。

また、小学校での取り組みとして教育実践 2 題、そして、研究発表として一般口演 5 題、日本腹話術協会会員のお二人から腹話術レッスン、また新しい試みとしまして、簡単パペットの作成を企画しております。

本大会のテーマは、「子ども」に着目し、「子どもたちを育むパペットセラピー」といたしました。その背景として以下のことがあります。

私が所属いたします埼玉県立大学は来年、20 周年を迎え、保健医療福祉分野で活躍する多くの卒業生を輩出しております。特に看護学科、社会福祉子ども学科、健康開発学科では、保育士、幼稚園教諭、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭また、幼稚園から大学に至る養護教諭など、「子どもたち」に日々向き合い、かかわる専門職に進む学生もおります。

また、今回会場として活用させていただきます地域医療教育センターは、埼玉県立小児医療センター内にあり、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設です。各種シミュレーターを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。さまざまな状況を再現できるシミュレーター(乳児、小児のほか分娩介助用のシミュレーター等)を用い、リアリティのあるトレーニングを積むことができるこの設備もお昼休みなどに見学をしていただけます。

最後に、皆様方のご協力をいただきながら、治療者(術者)が主体となって、パペット(腹話術人形)を介して子どもたち(対象者)の心に寄り添い、かかわることで、彼らの心理的、身体的に好ましい状態を与える活動「パペットセラピー」をここ埼玉県で体感していただく機会となりますようお願いしております。